

令和6年度

金沢市防災会議

令和6年11月8日(金)

金沢市役所 第一本庁舎 7階 全員協議会室

1 金沢市能登半島地震課題検証会議での 課題検証項目と解決に向けた方向性について

金沢市能登半島地震課題検証会議の概要

・目的

令和6年能登半島地震における被害状況や災害対応を検証し、
地域防災計画等をより一層実効性の高い内容に改定し、
「災害に強いまちづくり」を推進する。

・委員及びオブザーバー(全9名)

区分	氏名	役職等	専門分野
学識	越山 健治	関西大学 教授 ※金沢市防災アドバイザー	都市防災、復興計画、地域安全計画
	重川 希志依	常葉大学 名誉教授	社会基盤、防災工学、防災教育
	田中 純一	北陸学院大学 教授	災害社会学、環境社会学、災害復興論
ボランティア	明城 徹也	全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（認定NPO法人）事務局長	
地域代表	中川 一成	金沢市町会連合会 会長	
	竹上 勉	金沢市公民館連合会 会長	
	前 千代子	金沢市校下婦人会連絡協議会 副会長	
オブザーバー(行政)	総務省 消防庁 国民保護・防災部 防災課、石川県 危機管理監室 危機対策課		

これまでの取り組みについて

・取り組み状況

＜第1回課題検証会議＞

5月20日に開催

地域関係団体へのアンケートや庁内ワーキングをもとに、課題の抽出・整理を実施

- ①避難所のあり方、避難所開設や運営について
- ②要配慮者支援、医療救護について
- ③ライフライン（水道、下水道、ガス）、交通インフラについて
- ④子ども、児童支援について
- ⑤生活支援、建物応急復旧について
- ⑥情報発信、広報について
- ⑦広域避難、支援受入について
- ⑧災害対策本部の体制について

＜第2回課題検証会議＞

10月8日に開催

上記、第1回の課題項目について解決の方向性を審議



検証会議で委員から頂いたご意見、課題(抜粋)

<意見>

- ・上手くいった点も検証すべき
- ・被災後の医療体制や福祉対応の検証、分析
- ・情報伝達手段として、結ネットの機能強化
- ・県内他市町で災害が発生した際の応援力、支援力の強化

<課題>

- ・高齢者が多い地区で福祉ニーズを考慮した備蓄の用意
- ・専門的なNPOとの連携

金沢市議会 定例月議会で示された課題

- ・専門的なNPO、民間団体との連携
- ・中心市街地の帰宅困難者への対応、商業施設・商店街と災害発生時の連携
- ・トイレトレーラーの配備について
- ・ドローンの活用方法について
- ・町会や町連のネットワークを活かした情報収集
- ・ペットとの避難について
- ・災害時の危機管理体制について
- ・災害時協力井戸の助成制度、有効な活用方法について
- ・給水タンクの備蓄について

課題検証会議を踏まえた対応検討項目一覧

新規
11項目

1. 避難所における自動解除キーボックスの早期導入
2. 災害時ペット対策事例集の作成、周知
3. 女性・LGBTQ目線での専用エリア確保、夜間照明配備
4. 帰宅困難者マニュアルの策定
5. 外国人向け相談窓口設置、キーパーソンによる情報発信
6. 企業防災士の育成、支援

見直し
29項目

1. 避難所運営マニュアルの見直し
2. 庁内防災マニュアルの見直し
3. 交通事業者との連携強化
4. 帰宅困難者の誘導のため職員を金沢駅等に事前配置
5. 金沢駅での帰宅困難者を想定した訓練実施
6. 企業への社内備蓄の推進
7. 備蓄品の配備拡充（簡易トイレセット、給水タンク等）
8. 飲食物の分散備蓄の充実・拡充
9. 校下・地区での防災計画の策定および改定の推進
10. 医師会・看護師会との連携強化
11. 給水車への補水場所の見直し
12. 学校危機管理マニュアルの見直し
13. マンホールトイレの整備推進
14. 避難所運営アプリによる情報集約の強化
15. 紙面情報管理の強化

7. 拠点避難所等に基本的な福祉用品の備蓄
8. 3Dマップ、VR技術を活用した体験講座の開催
9. トイレトレーラーの配備
10. 情報発信を一元化するシステムの構築
11. 専門的なNPO団体を含めた災害時協力協定の締結

検討・継続
6項目

1. 施設管理者、関係団体への講習（継続）
2. ペット同伴避難の候補施設、民間関係団体との連携検討
3. 個別避難計画の作成（継続）
4. 津波避難地図、ハザードマップの周知徹底（継続）

5. 孤立集落支援のあり方検討
6. 他市町が被災したときの応援力、支援力の強化方策検討

①-1 避難所の開設・運営・あり方

1. 避難所開設の遅れ

避難所開設要員が被災するなど、到着が遅くなる可能性がある。
避難所に**自動解除キーボックス**を導入し、迅速な対応を図る。

<自動解除キーボックス>

- ・内部に震度計を設けたキーボックス
- ・震度5弱以上を感知すると、自動で解除

<詳細>

- ・ダイアル式での解除も可能
- ・地元自主防災会、施設管理者の負担軽減
- ・避難所に指定している市立小中学校、
体育館など約100カ所に設置



自動解除キーボックス イメージ
出典:(株)エヌ・アイ・シー <https://bousai-jishin.net/product/sm/>

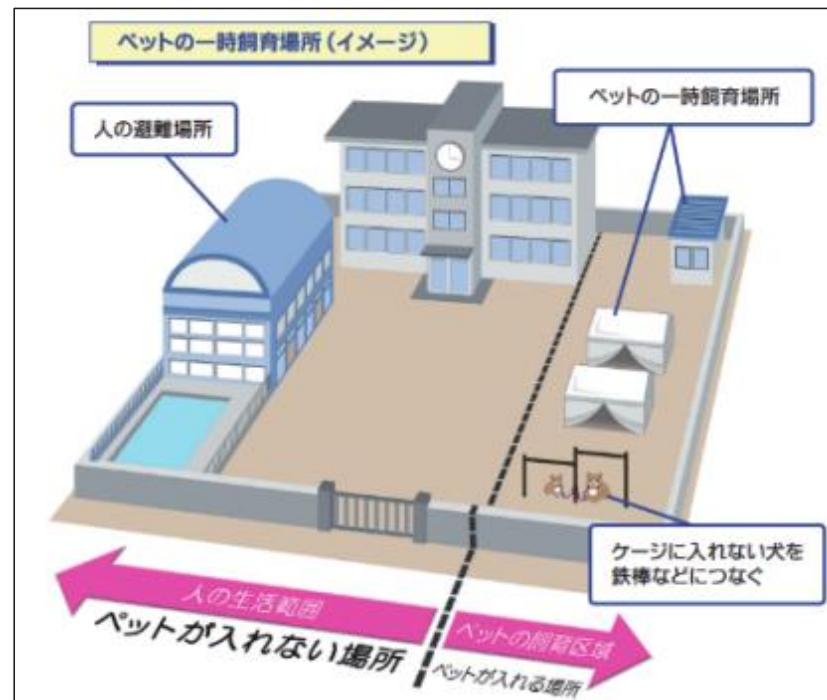
①ー1避難所の開設・運営・あり方

2. ペット同行避難者への対応

同行避難を原則とし、飼い主等に向けた**災害時ペット対策事例集を作成**
同伴避難については、受入可能な施設の選定など、検討を継続

<詳細>

- ・平時からの備え(ドッグフード等)を周知
- ・避難所での飼育スペースの明確化
- ・今後、市施設のほかペット専門学校、ペットホテルを含めた同伴避難の施設を検討



出典:横浜市
ペット同行避難ガイドライン

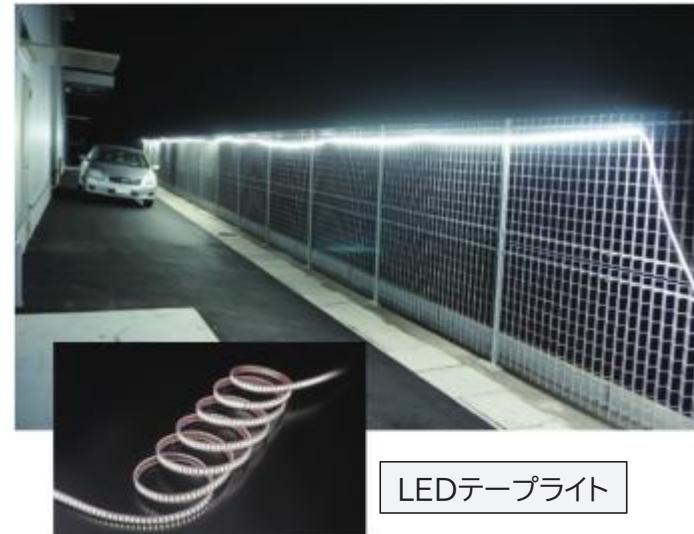
①ー1 避難所の開設・運営・あり方

3. 女性目線、LGBTQ目線での避難所運営

授乳室や着替え等の**プライベートルーム、専用エリアの確保**
トイレへの動線など、**性犯罪を起こさせない照明の配備**



プライベートルームテント



LEDテープライト



LED投光器

①-2 避難所の開設・運営・あり方（帰宅困難者対策）

帰宅困難者対策

金沢駅周辺で帰宅困難者が発生し、近隣避難所へ流入

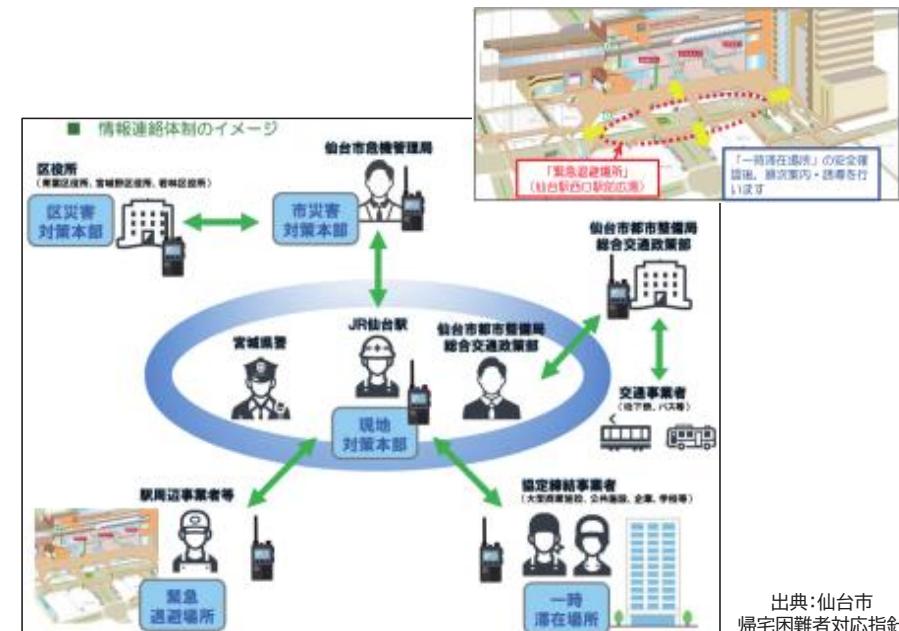
帰宅困難者対応マニュアルを作成し、交通事業者等と連携を強化

<駅構内に現地対策本部を設置>

- ・市職員、交通事業者、近隣施設と連携し、誘導
- ・付近の公共施設、広場を一時避難所として利用
- ・次年度、帰宅困難者を想定した訓練の実施

<平日の日中に被災した場合>

- ・通勤で金沢に通う会社員が帰宅困難者となる
- ・会社ビル等への避難に備え、企業防災士を育成支援
- ・社内備蓄の推進



出典：仙台市
帰宅困難者対応指針

② 要配慮者支援、医療救護

福祉用具の配備

避難所の高齢化が進み、福祉避難所以外でも福祉用具のニーズがある。
車いすやスロープ、歩行器など基本的な福祉用具を拠点避難所等に配備



車いす



歩行器



スロープ



担架



アウトドアに
災害時に



介護用簡易トイレ

折りたたみ式

④ 子ども、児童支援について

児童への防災意識の向上

3Dマップを活用したVR技術で体感できる防災講座、イベントの充実

<VR防災学習>

- ・プラトー（3Dマップオープンデータ）を活用し、金沢の災害を想定可能
- ・市かがやき発信講座、地域での防災訓練で活用



出典：仙台市VR防災学習



地震と津波、風水害を疑似体験（出典：TOPPAN）

⑤ 生活環境支援について

断水による生活環境悪化、衛生環境の悪化

初動、局所的な対応として、**トイレトレーラーを配備**
拠点避難所でのマンホールトイレ整備を推進

<詳細>

- ・能登では全国から派遣されたトイレトレーラーを利用
- ・平時はマラソン大会や屋外イベントで活用
- ・タイプによっては多目的トイレにも対応
- ・太陽光パネルで照明、洗面所も利用可能
- ・汚物は下水道に流すかバキュームで汲取



⑥ 情報通信・広報について

市民への早期情報発信

情報発信するツールが多く、入力作業が煩雑

DX化により入力を集約するシステムを構築し、**発信作業を一元化**

1. 情報発信

課題

市民へ迅速に情報が伝わらない

原因

- 情報発信するメディアが多い
- メディア毎に情報を更新するため、迅速性を損なわれる

防災情報システム

HP

LINE

結ネット

Instagram

同報防災無線

Lアラート テレビ、ラジオ、緊急連絡メール、インターネット
Yahoo!防災

公式X

緊急速報メール docomo/softbank/au/楽天

ぼうさいドットコム

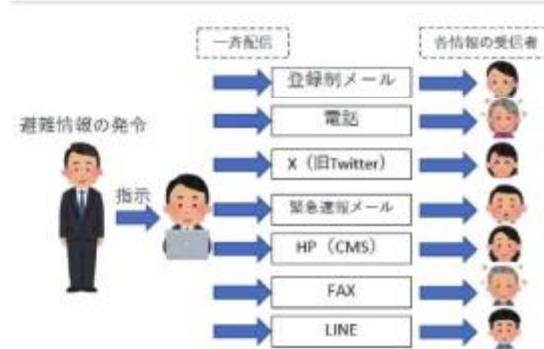
公式アプリ

同報防災無線再配信 個別受信機

◎防災情報配信の一元化

対応案

情報発信体制を見直し
一斉に情報配信ができるシステムを構築し情報発信をスムーズに行う



⑦ 広域避難、支援受入について

支援物資の受入配送体制

災害時協力協定を締結している**佐川急便**と連携し、能登へ物資を配達
今回のノウハウを反映し、合同訓練等をとおした配送体制を構築



⑨ その他課題について

専門的なNPOとの協定締結

能登では特殊な移動車両を持つ、専門のボランティア団体等が活躍
平時から中間支援組織である**NPO等との積極的な協定締結を推進**



ランドリーカー



循環型シャワーシステム



トレーラーハウス

⑨ その他課題について

災害時の生活用水の確保に向けた井戸の活用強化

市内で登録されている**災害時協力井戸**(約190カ所)の調査
非常時に使用できるよう手押しポンプの設置を検討



水質検査含む調査



手押し式ポンプの設置推進

2 金沢市地域防災計画の 改定方針・骨子案について

金沢市地域防災計画の改定方針(案)について

金沢市地域防災計画について、令和6年能登半島地震の災害教訓や課題検証会議の意見を反映した改定を行います。

① 能登半島地震を教訓とした避難所運営の改善

② 大規模災害を見据えた対応体制の強化

③ 市民への情報発信力強化、防災啓発の充実

① 能登半島地震を教訓とした避難所運営の改善

- 避難所開設の遅れをなくすため、自動解除キーボックスを導入
- ペット同行避難にかかる対策事例集の作成、同伴避難の検討
- 女性目線、LGBTQ目線での専用エリア確保、夜間照明配備
- 避難所の高齢化が進んでおり、拠点避難所に福祉用品を配備
- 自主防災会、施設管理者、市による事前協議を実施し、避難所のレイアウト等を取り決め
- 県の地震被害想定に合わせた避難所の適正配置、備品の拡充

② 大規模災害を見据えた対応体制の強化

- 災害発生時の初動体制の見直し・強化
- 金沢駅や中心市街地、観光地での帰宅困難者対応マニュアルを策定し、関係機関と連携を強化
- 断水時の対応として、トイレトレーラーの配備、マンホールトイレの推進、災害時協力井戸の活用強化
- 専門的なNPO等との災害時協力協定の締結推進、既存協定内容の見直し
- 関係団体と連携した、具体的な合同初動訓練の実施
- 車中避難者への対応力強化
- 他市町で災害が発生した場合の応援力・支援力の強化を検討
- 孤立集落へのあり方検討

③ 市民への情報発信力強化、防災啓発の充実

- 避難所受付や開設状況のDX化を図り、情報集約を迅速化
- 情報発信の入力作業を一元化し、多様なツールで避難情報を発信
- 3Dマップ、VR技術を活用した体験型の防災啓発の推進
- 企業防災士の育成・支援、社内備蓄の推進
- ハザードマップの周知、非常用持ち出し袋の持参率向上などに向けた、防災啓発チラシの配布
- 金沢市に在住する外国人対応として、平時から防災啓発や避難情報を発信

<今後のスケジュール>

項目	令和6年度											
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
防災会議			●第1回 5月29日 ・課題の報告 ・今後の取組方針					●第2回(11月8日) ・改定方針・骨子の決定			(翌年度5月) ・防災計画の改定	
検証会議			●第1回(5月20日) ・課題の確認・整理 ・専門家の意見聴取				●第2回(10月9日) ・解決方策の整理 ・専門家の意見聴取			第3回(議会前)● ・計画改定案の確認 ・各種マニュアルの確認		
府内ワーキング			①課題の抽出・整理 グループワーキング等		②解決方策の検討・整理			③各種マニュアルの修正				
		今回の検証 状況シートの記入		課題を受けワーキング 各班業務の見直し		改善点の整理			修正項目の反映			
		5月15日 第1回府内W		随時 各グループワーキング、 部会の実施		9月3日 第2回府内W				2月中 第3回府内W		
			コンサル他都市事例調査		委員との調整			議会調整		パブコメ	修正作業	